

1. 案件名（国名）

国名： ラオス人民民主共和国

案件名： セコン橋建設計画(仮)

(The Project for Construction of Sekong Bridge on NR16B in the Southern Region of Laos)

2. 事業の背景と必要性**(1) 当該国における道路・橋梁セクターの開発実績（現状）と課題**

ラオス国では、道路交通が主要な移動・輸送手段であり、旅客では約9割、貨物では約8割を占めている。当国南部地域(サバナケット、サラワン、セコン、チャンパサク、アタプーの5県)は、タイ・ベトナムと国境を接し、地域的な連結性の観点から道路整備が急がれるが、山岳地帯が多いためそれが遅れている(国道の約半分が未舗装路)。これまで当国は、南部地域で国道9号線、国道13号線の道路整備、パクセー橋建設、第2メコン国際橋等、日本を含む各援助機関の支援を受けながら積極的に道路整備を行ってきたが、依然として雨期には道路ネットワークが機能不全に陥りやすい状況にある。現状、南部地域において、タイ・ベトナムを結ぶ国道16号線はセコン川によって分断されている。現在は渡河船が運行されているが、渡河船の運行は不定期で、雨期には頻繁に運休するため、周辺住民の生活への影響が大きい。

渡河船運休時に「陸の孤島」と化すセコン川以東(セコン県東部及びアタプー県東北部)は、従来からMDGs指標改善に不可欠である社会インフラが不足し、極度の貧困に苦しむ地域である。しかし、アクセスの問題から経済活動が阻害されていること、支援が届きにくいことから、今後さらに開発から取り残される可能性がある。このような状況を改善するため、また、南部地域及びメコン地域全体の経済発展のため、安定的に通行可能な橋の建設が課題である。

(2) 当該国における道路・橋梁セクターの開発政策と本事業の位置づけ及び必要性

当国政府の第7次5ヵ年国家社会経済開発計画(NSEDP)では、遠隔地へのアクセスや、周辺国への国際アクセスのための道路を中心とした運輸インフラの維持管理、改修及び開発に高い優先度を与えている。これを上位計画として作成された公共事業運輸省による第7次道路橋梁整備計画では、南部地域における優先度の高い道路として、国道16号線の重要性が指摘されている。本事業は、同国道のミッシングリンクを解消するものであり、実施の必要性が認められる。

(3) 道路・橋梁セクターに対する我が国の援助方針

本事業は、「対ラオス国別援助方針」において重点分野として設定されている「経済・社会インフラ整備」に該当する。特に交通・運輸網の整備は、今後の経済成長のために必須なものとして、インフラ分野の中でも重要な開発課題の一つと位置づけられている。

(4) 他の援助機関の対応

南部地域における他援助機関の近年の主な援助実績として、ADB、IDAが共に国道9号線、国道13号線の道路整備を実施している。

3. 事業概要**(1) 事業の目的**

ラオス南部地域にセコン橋を建設することで、地域の主要幹線道路である国道16号線のミッシングリンクを解消し、もってラオス南部地域の貧困削減、さらには経済・社会開発に寄与することを目的とする。

(2) プロジェクトサイト/対象地域名

セコン県ラマン郡

(3) 事業概要

セコン橋の建設(橋長 300m を想定)。詳細は協力準備調査にて確認。

(4) 事業実施体制

本事業の実施機関：公共事業運輸省道路局

運営・維持管理機関：セコン県公共事業運輸局

(5) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境社会配慮

① カテゴリ分類：B

② カテゴリ分類の根拠：「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」(2010年4月公布)に掲げる道路・鉄道・橋梁セクターのうち大規模なものに該当せず、また、同ガイドラインに掲げる影響を及ぼしやすい特性・地域に該当しないため。

2) 貧困削減促進等

セコン県東部に位置するダクチュン郡・カルム郡は、「国家成長貧困削減戦略」において支援優先最貧困郡とされている。セコン県東部につながるアクセス道路の整備が進めば、地域製品の生産・出荷が容易になることから、地域経済開発が促進され、地域住民が農業および農業外での現金収入を確保・向上する機会を提供することが期待される。

(6) 他スキーム、他ドナー等との連携

・セコン橋に接続する 16B 号線は、ラオス政府資金及び民間資金で改修工事が進められている。
・実施中の「道路維持管理能力強化プロジェクト」において、公共事業運輸省、道路局、公共事業運輸局等を対象に橋梁維持管理の技術協力を行っており、その成果のセコン橋維持管理への活用を検討していく。

(7) その他特記事項：特になし。

4. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

(1) 類似案件の評価結果

- 「ラオス国第二次国道 9 号線改修計画」の事後評価等では、適切な道路維持管理により裨益効果を維持するために、道路維持管理を実行する組織の人員と技術力および予算確保が必要であるとされている。これについて、道路局は十分な人員と技術力は有するが、ラオス側の予算確保の更なる努力と財務運営管理能力の強化が望まれるとの指摘が得られている。
- セコン県が位置する南部地域は不発弾（以下 UX0）の汚染度が高く、過去に同地域で実施された教育分野の無償資金協力案件において、着工後に UX0 が発掘され対処に時間を要した例があるため、事前の UX0 調査済証明と、安全確保の体制構築が必須であることが判明している。

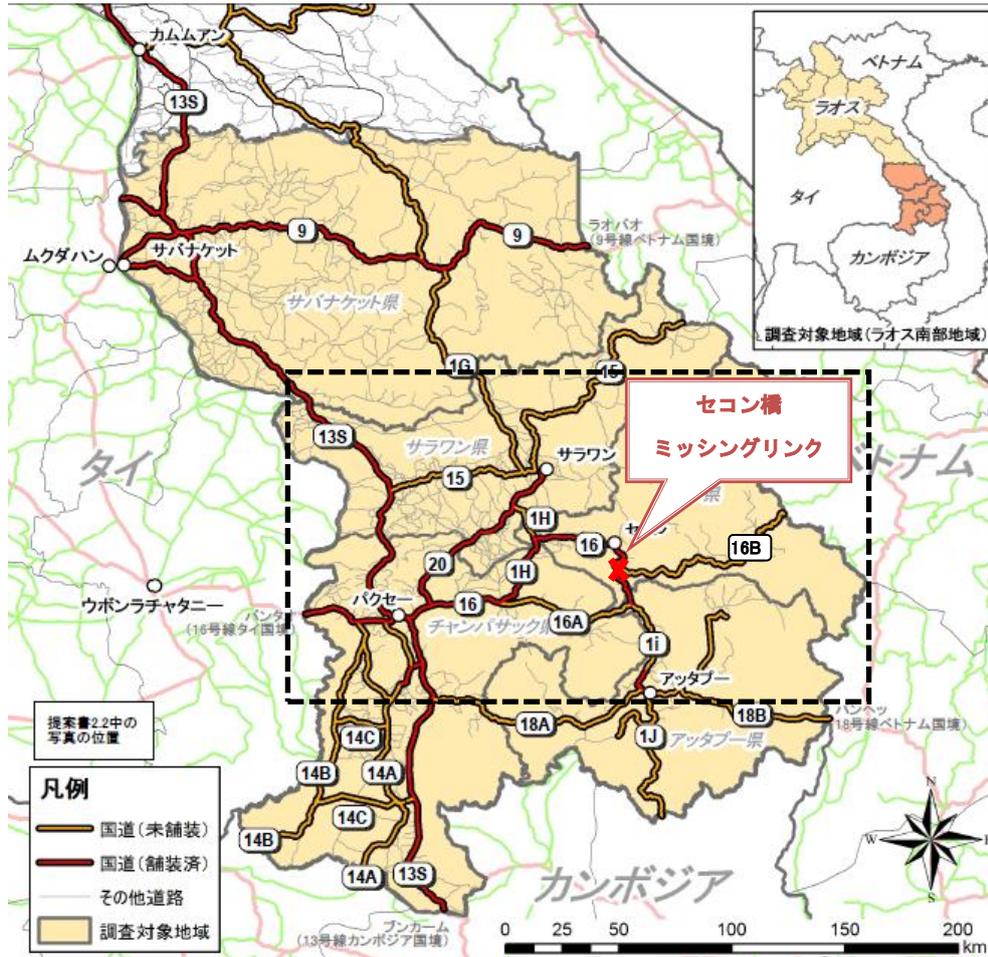
(2) 本事業への教訓

- 本事業においては、効果的な予算計画策定により道路・橋梁が適切に維持管理され、裨益効果を持続させるため、ラオス側に維持管理体制に係る予算確保を要請するとともに、協力準備調査において、実施中の技術協力プロジェクトの成果活用を検討する。
- UX0 による事故や工期遅延等、事業の円滑な実施に支障をきたす可能性については、協力準備調査を通じ、ラオス側に対し以下の点で協力を求め、調整する。
 - 着工に先立ち、ラオス側から UX0 調査済証明書が確実に発行される。
 - 万が一着工後に UX0 が発掘された際の速やかな除去及び安全確保のための体制を構築する（事業実施者と UX0 除去機関セコン県支部との連携体制の確立等）。

以上

〔別添資料〕地図

ラオス南部地域地図



出典：上下共に「ラオス国南部地域経済開発に係る情報収集・確認調査」